

第23回 第2660地区ガバナー杯争奪 軟式野球大会を終えて！

軟式野球同好会マネージャー
新井文三 (大阪帝塚山RC)

2011年10月16日(日)、昨年度に続いて、高島GEに御参加をいただき始球式を挙行いたしました。本年度第23回大会は、出だしの初日より雨に邪魔をされ、球場確保とメンバー不足に悩まされたクラブの棄権試合に翻弄された一日で始まりました。

今年はその忌々しい3月11日の未曾有の巨大地震による「東日本大震災」が起り、日本中のみならず世界中をも震撼させた最悪の出来事がありました。当時は、国全体が自粛ムードに包まれ他聞に漏れず、昨年度本大会の表彰式や懇親会も中止となりました。一時本年度ホストを承っている当クラブとしては悩みました。今大会を取り止めて大会費用を義援金として拠出する方が良いのでは？色々な葛藤の末、元氣を出してもらう為には、我々が元氣を出して沈んだ気持ちを払拭しなければという思いから、大会開催を決意しました。

「夢の甲子園に出場しよう！」をターゲットに、白球を追い続けるも寄る年波とメンバー不足には勝てず年々意気消沈するばかりです。それでも、ひとたびグラウンドに立てば相手に向かう姿は真剣そのもの。又、メンバー不足の窮状を考えると怪我は絶対禁物。そんなこんな事情を想うと必然と力が入り迫真のプレーを生じる。何はともあれ今大会も大きな怪我人も出ず、全日程を消化することが出来ました。これも偏に参加ロータリアンの寛容と奉仕の精神の

賜物と感謝の念にたえません。本年度大会は10チーム(大阪大手前、大阪中之島、大阪平野、大阪うつば、寝屋川、吹田、吹田西、くずは、八尾、大阪帝塚山)でリーグ戦を戦いました。各チーム、各々に好プレー、珍プレーが続出する試合、時間制限が惜しまれる試合等々、すばらしい試合ばかりです。試合前日又は、当日に雨に祟られ全試合消化が危ぶまれましたが、何とか決勝戦まで実施することが出来ました。その決勝戦を制したのは昨年度覇者の吹田西RCです。くずはRCの善戦もあと一歩及ばず、最終回の裏で逆転負けのクロスゲームでした。試合時間も今大会最長の1時間46分と近年にはないすばらしい試合でした。終わってみれば大会開催で苦悩し、開催を決意した意義が大変大きいことを痛感いたしました。次年度は新チーム「大阪東淀ちゃやまちRC」を新しい仲間としてお迎えする予定です。そしてホストクラブには古豪「大阪平野RC」にバトンタッチいたします。

最後に、「東日本大震災」で被災された東北地方の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

